

かわばたの風

発行所: 社会福祉法人愛篤福祉会
 発行日: 令和4年2月28日
 住 所: 北海道夕張郡由仁町川端1002
 電 話: 0123-85-2246 FAX: 0123-85-2046
 メール: kakas_01@aitokufukushikai.jp

虐待・権利擁護研修を終えて

管理者 太田 さとみ

コロナ禍の為、リモートにて虐待・権利擁護に関する研修が行われました。そのため、今年度は全職員が受講することになりました。研修後、お互いに虐待防止・権利擁護についての考えを確認し合い、日々の業務を正すよい機会となりました。

そんな折、北海道新聞に「障がい者閉じ込め常態化」という記事が載りました。公的な障がい者施設で、入所者を一日20時間以上、外側から施錠した部屋に閉じ込める対応が常態化しているとの内容でした。施錠を10年以上続けていたり、24時間施錠したままにしていたりする施設もあるそうです。「強度行動障害の為、自傷や他害行為があり仕方ない」とは施設側の説明。それが常態化しているということ

は、虐待と認識されていないから、それとも虐待と分かっているにもかかわらず理由があるからでしょうか。厚生労働省の担当者は、「行動障害は障害特性と環境のミスマッチで起きる」と話しています。ならば私たち支援者は、まず環境を整える事に注力すべきでしょう。「利用者の生命と健康を守る」とは私たちが果たすべき責任です。しかし、それを大儀として軽々と権利侵害がされてはいけません。相手の立場に立ち物事の判断が出来るようになりたいものです。

研修での学びをもう一つ。怒りに打ち震え、相手の立場に立てなくなりそうな時の対応です。「一旦深呼吸」それでもダメなら誰かに任せて一時退避。「ご家庭でも使えそうですよね。」

「食事は大切だよ」

脳と腸は直接繋がっていて腸が感情を司る重要な器官であることが最近解かってきたそうです。

重い障がいを持った方の中には、食生活が乱れがちになられる方が多く見られます。食事を摂るという事は大変大切な行為ですから疎かにならないよう、事業所ではバランスのとれた野菜中心の献立を心掛け、温かな手作り昼食、夕食を提供しています。偏食、大食い、食を軽視する、よく噛まない…そんな食事を摂ってしまう障がい者の方に、丁寧に対応しております。自分の体を守る大切な食事ですから、常に食に関心を持ちたいですね。



「牧人権力」とは

ほくとけんりよく

虐待・権利擁護研修を受け、特に印象に残った「牧人権力」という言葉があります。牧人とは、羊飼いのことを指しますが、羊飼いは、羊の安全と命を守る為なら献身的に働きます。その姿の中に、「あなたの命と健康のためだから」といった言葉で管理し人々を抑制してきた形が「牧人権力」という言葉の語源になっています。

「あなたのために」はうめぼれであって「あなたにとって」が相談援助などで使う言葉であると、とらえています。

令和4年上半期個別面談を3月1日から行います。

話し合いの中で、気づかないまま「牧人権力」が潜む言動になってはいないか、自分自身と見つめ合いながら、「ご家族、利用者さん一人ひとりが安心できるためにはどのような支援が必要なのかを改めて考えながら、面談を行いたいと思います。今後の支援の充実を心がけていきたいと思います。

サービス管理責任者

加藤 安子



3月の予定

- 4日 工賃支給
- 14日 避難訓練
- 25日 工賃会議



風だより

今年に入ってから降雪の多さに辟易しています。▼北海道各地で連日、積雪の記録更新がニュースになっていきます。私たちが住んでいる川端でも周辺の方々は、「今年は、雪が多くてね…」の会話から始まり、常に雪の多さが話題になります。ようやく雪に慣れてきた私も、今年は愚痴の一つも出てしまいそうになりますが、雪質の違いに春が近づいて来ていることを感じ、ちよっとした喜びを味わっています。▼真っ白な校庭をエゾリスが駆け抜ける様子を見ることができ、あまりの可愛らしさに見えなくなるまで目で追ってしまいました。校庭の雪原にタイプしてみた…そんな童心が騒ぐ真っ平な雪を見て！

<寄付・物品寄贈の皆様> 山本 輝人 様、ホクレン農業協同組合連合会 様 (順不同) ありがとうございます。

2月



せつぶん ひ たの かい
**節分の日にお楽しみ会を
 ひら きました！ 楽しかったね！**



ゆき 雪かきもがんばっています！



かつ 2月スペシャルメニュー



みなさまのしゃしんは ほんにんのりょうかいをいただいで しょうしています。